

子どもの防犯対策について

新学期が始まるなど、これからの季節は外で遊ぶ子どもたちが多くなるとともに、子どもだけでの行動が増えることで大人の目が届きづらくなります。

コロナ禍が過ぎて、犯罪による子どもの被害件数は増加傾向にあり、特に暴行、強制・公然わいせつ、監禁など子どもの心身に深刻なダメージを与える種類の犯罪が増えています。

下記を参考に、事件や事故に遭わないよう約束ごとを必ず決めましょう。

子どもとの約束ごとの例

出かけるとき

①知らない人についていかない

次のような言葉に気を付けましょう。

「お母さんが事故に遭って救急車で運ばれたので、病院に一緒に行こう」

「車に乗って〇〇駅まで案内してほしい」

「新人タレントのスカウトで、写真を撮らせてほしい」 など



②外で一人では遊ばない

年少者は、保護者の目の届く場所で遊ばせましょう。複数で遊んでいれば、仲間が大人に危険を知らせることができます。

③出かけるときは誰と、どこで、何時頃帰るかを伝える

約束の時間に帰ってこないとき、探す場所の見当を付けることができます。

④連れて行かれそうになったときは、防犯ブザーを鳴らすか大声で叫んですぐ逃げる

普段から防犯ブザーの使い方や大きな声を出す訓練をしましょう。叫ぶときは、「キャー」や「ワー」ではなく「助けて」と叫ぶようにしましょう。

インターネット、スマホを使うとき

①名前や住所などの個人情報を教えない

ネット上で知り合った人が必ずしも良識のある人だという保証はありません。個人情報が流出するなど、意図しない犯罪に巻き込まれる可能性があります。

②パスワードは絶対に教えない

悪用されて、詐欺や金銭トラブルなどの犯罪に巻き込まれる可能性があります。

③怪しいサイトや知らない人からのメールは開かない

不用意にアクセスすると、ウイルスの感染や詐欺などの被害に遭う可能性があります。特に、知らない人からのメールは無視しましょう。また、フィルタリングをすることも有効です。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 35 0110

追分駐在所 ☎ 25 2003

安平駐在所 ☎ 23 2339

早来駐在所 ☎ 22 2030

遠浅駐在所 ☎ 22 2211

役場総務課 ☎ 22 2511